

# 学校経営・運営ビジョンの取り組み

令和3年11月4日(木)

令和3年度 学校評価資料

福島県立猪苗代支援学校

平素より本校の教育活動に御理解と御協力をいただきありがとうございます。  
今年度はコロナ禍による学校行事の見直し等がありましたが、4月からこれまでの学校の取り組みをお知らせします。この資料は、後日送付するアンケートにお答えいただく際の参考にしてください。

## 自分からあいさつできる児童を育てます

### <全体>



あいさつ運動の様子

高等部生徒会によるあいさつ運動を行いました。一週間毎朝、生徒会役員の生徒があいさつを呼びかけました。生徒自らが立ち、呼びかけることであいさつの意識を高めることができました。

### <中学部・高等部>

いなっ子まつりでは、中学部生徒と高等部生徒が、作業学習で作った製品を販売しました。自分たちが作った製品が売れることを目の当たりにして、うれしいのと同時にお客様に対する感謝の気持ちが芽生えました。



販売活動の様子

ある日から、小学部の児童が先生方一人一人の前で立ち止まり、深々とお辞儀をしながら「おはようございます。」とあいさつするようになりました。これは、その児童が自分で考え、行動を起こしたことだと思われます。その後ろでその児童のお母さんも同様にあいさつをしていました。

その後、その話を校長が高等部の生徒にしたところ、高等部の生徒がそれをまねして、先生方の前で立ち止まり、深々とお辞儀をしてあいさつするようになりました。それもまた、自分たちで考え、行動したことだと思われます。

一人の児童を模範として、学校全体のあいさつが良くなってきています。

## 生徒が夢中になれることを探究します

### <小学部・中学部>



大規模改造工事の第二期工事が終わり、学校の真ん中に位置する「自立活動エリア」が復活しました。

児童生徒は、お昼休みになると、どこからともなく集まってきて、小・中学部児童生徒が一緒になって遊んでいます。



昼休みの様子

卓球、キャッチボール、新聞紙でのチャンバラごっこなど、思い思いに楽しそうな声をあげながら、昼休みの時間を過ごしています。

このような活動の中から、自分の好きなこと、夢中になれることを探してほしいと思います。



運動会<ボッチャ競技>  
の様子

今年度は、昨年度できなかった運動会を開くことができました。

小中学部の行事として、体育館で実施しました。

その中では、パラスポーツであるフライングディスク競技やボッチャ競技などを取り入れ、小中学部の段階からパラスポーツを経験する取り組みを行いました。パラスポーツをとおして、楽しみながらも将来様々な方々との交流にもつなげていってほしいと思います。

### <高等部>



陸上大会の様子

10月には、高等部の陸上大会を実施しました。

それぞれの生徒が、猪苗代陸上競技場のタータントラックを、自分の走ることができる距離を思いっきり走ることができました。

普段、毎朝農道を走って体力づくりを行っていますが、その体力を活かして、自分の限界に挑戦しました。これからも「じょうぶな体」を作れるようにがんばってほしいものです。

この他にも、キーボード演奏に取り組む生徒、タブレット端末で好きなことを調べる児童生徒など、児童生徒がそれぞれ夢中になれることを見つけられるようになってきています。

## 生徒が自分の思いや考えを、様々な場面で伝える力を発揮できるようにします

### <全体>



10月にいなっ子まつりを実施することができました。コロナ対策をしっかりと行い、保護者のみの参観での実施となりましたが、当日は、ステージ発表や作業製品の販売活動を行いました。

それに伴い、いなっ子まつり実行委員会が全学部の代表児童生徒で組織されました。いなっ子まつりを成功させるために話し合いをし、意見を交換しながら、オープニングやエンディングについて決めていきました。

当日は、大成功となり、いなっ子まつり実行委員の児童生徒を初めとして全児童生徒が達成感を味わうことができました。

### <小学部>



小学部は、毎年行っている翁島小学校と交流学习を行いました。

この1年生は、集団での活動が苦手な児童ですが、同世代の児童とふれあう中で、交流学习に入ることができました。少しずつ自分の気持ちを他人に伝えるという学習ができるようになってきています。

### <中学部>



中学部では裏磐梯中学校・磐梯中学校とそれぞれ交流及び共同学習を行っています。コロナの影響もあり、その時の状況に応じてリモートや本校・相手校での交流活動を行いました。

リモートであっても、クイズやゲームを画面を通して共有することで、楽しくやりとりをすることができました。

### <高等部>



高等部では、猪苗代高校と一緒に亀ヶ城公園にてクリーンアップ作戦を実施しました。2年ぶりの活動となりましたが、晴れた空の下、ゴミ拾いを通して交流を深めました。

ゴミ拾いもがんばりましたが、会話の方がはずみ、お互いに楽しい時間を過ごすことができました。

## － 今年度のトピックス －

自分手帳を活用して、生活習慣の改善と健康づくりに取り組んでいます。



昨年度から活用している「自分手帳」ですが、今年度は、本校の児童生徒が使いやすいものにするため、本校版の「自分手帳」を作成し、活用しています。

身長体重などの自分の成長の記録はもちろん、保健目標や食育目標を振り返ることができるようなシート、運動や体力テストの結果を記入できるシートなどを取り入れ、自分で記録しながら、自分の健康と成長に向き合っています。

自分で記録することで、今まで自分では気づけなかった健康の課題に気づくことができたり、運動に関して目標を設定し、それを目指してがんばったりする姿が見られるようになってきました。

公共交通機関を活用できるように取り組みました。



本校は、JRの駅も遠く、近くに路線バスも走っていないという環境にあります。

しかし、将来卒業後には、公共交通機関を利用することも考えられます。今までは、駅やバス停留所が遠いということで利用をすることがあまりなく、本校の児童生徒にとって公共交通機関の活用が課題となっていました。

今年度は、「積極的に公共交通機関を利用しよう!」と各学部で公共交通機関を利用した学習に取り組み始めています。公共交通機関を使って校外実習に通勤した生徒もいました。

実際にJRや路線バスを利用してみると、その便利さを実感するとともに、「また利用してみたい。」と思うようになったようです。利用の仕方や公共の場でのマナーについても学ぶことができました。

今後も、学校全体として公共交通機関の活用に取り組んでいきます。

## 授業で積極的に ICT の活用を行いました。

今年度も新型コロナウイルス感染症が蔓延し、様々な対策を考えざるを得ませんでした。そのような中、「GIGAスクール構想」による一人一台端末（タブレット端末）が配備されました。本校でも学校に配備されたタブレット端末を活用した取り組みを行いました。

まずは、休校や児童生徒の出席停止に備え、家庭にタブレット端末を持ち帰り、リモートで授業ができるよう、体制を整えました。本校に配置されたICT支援員さんの協力を得ながら、リモートでの授業が可能になりました。

リモート通信ができるようになったことで、それを学校での授業にも生かすことができるようになり、全校朝の会をリモート配信で行ったり、いなっ子まつりの他学部の発表を教室で見たりと、コロナ対策にも配慮しながら、体験を共有することができました。

タブレット端末は、他にも画像を撮って記録をして振り返ったり、言葉の代わりにタブレット端末で発表をしたりなどにも活用することができました。

将来、児童生徒がICTを活用して生活を便利にできるよう、取り組んでいきたいと思えます。



リモートでの全校朝の会



いなっ子まつりのリモート配信



タブレット端末で発表



修学旅行にてタブレット端末で撮影



タブレット端末で動画視聴